



新時代を切り拓く
「知の拠点」を目指して

神奈川大学は、創立者の米田吉盛先生が、横浜桜木町に本学の前身である横浜学院を開設して「教育は人を造るにあり」と説いて以来、卓越した研究に基づく教育重視の伝統を堅持して、世界に通用する有為な人材を輩出してまいりました。

激動する世界の大きな潮流変化の渦中にある大学の価値を計る尺度は、混迷する「時代を切り拓く力」であり、その源泉であるアカデミック・エクセレンスは、大学の創立理念に基づく存立意義に懸けて深化させる必要があります。そのためにも、本学は、2028年の創立100周年とその後の永続的な発展を見据えた「教育組織の構築」と「教育研究環境の向上」を推進してまいります。

今回の中期計画においては、教学マネジメントの確立、国際化とダイバーシティの推進、そして持続可能な新しい経済社会を目指すSDGsへの取り組み強化を基軸にして、教育組織の改革と教育研究環境の向上を図ります。

特に、教育組織については、副学長をリーダーとする理工系と人文社会科学系の2つの教育組織検討委員会を立ち上げて、将来と世界を見据えた先進的な本学なりの教育組織を実現すべく多角的な検討が進められており、文理融合の新学部である「建築学部（仮称、2022年4月開設予定）」構想などが議論されています。

新時代が要請する持続可能で知的な経済社会を先導する本学の改革が動き始めています。
「知の拠点」たる希望と期待に満ちた世界標準の新生神奈川大学の動向に今後ともご期待ください。

2020年 6月
神奈川大学
学長 兼子 良夫

2020年みなとみらいキャンパスが完成し、2021年4月開設。
さらなる未来へ、この先も歩み続けます。



みなとみらいキャンパス 完成イメージ図

学校法人神奈川大学

www.kanagawa-u.ac.jp

横浜キャンパス

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL:045-481-5661 (代)
大学院 ■ 法学研究科 ■ 経済学研究科 ■ 外国語学研究科 ■ 人間科学研究科
大 学 ■ 工学研究科 ■ 歴史・文化科学研究科
大 学 ■ 法学部 ■ 経済学部 ■ 外国語学部 ■ 国際日本学部 ■ 人間科学部 ■ 工学部

湘南ひらつかキャンパス (SHC)

〒259-1293 平塚市土屋2946 TEL:0463-59-4111 (代)
大学院 ■ 経営学研究科 ■ 理学研究科
大 学 ■ 経営学部 ■ 理学部

みなとみらいキャンパス (2021年開設予定)

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい4-5-3

※ 2021年4月より、みなとみらいキャンパスに移転予定

附属学校 神奈川大学附属中・高等学校 中山キャンパス

〒226-0014 横浜市緑区台町800 TEL:045-934-6211

みなとみらいエクステンションセンター (KUポートスクエア) 生涯学習・エクステンション講座

〒220-6014 横浜市西区みなとみらい2-3-1クイーンズタワー A 14F
TEL:045-682-5553



KU 世界へ、そして未来へ
学校法人神奈川大学

学校法人 神奈川大学 将来構想実行計画(2018-2028)

中期計画 2020-2024



みなとみらいキャンパス 完成イメージ図

創立100周年見据え
確固たる道標を構築

真理の追究と知の創造。そして人間教育。最高学府として、その理想を追求し、実現するためには教育・研究環境の充実と整備が求められます。創立100周年に向けた「キャンパス新総合計画グランドデザイン」はその道標であり、向こう5カ年の具体策が「中期計画(2020-2024)」です。本学は2018年に「将来構想実行計画(2018-2028)」、「中長期財政計画(2018-2028)」を策定しており、今回、それらをより具現化しました。

「100年の計」というべき「みなとみらいキャンパス」が2020年末に完成し、新設となった国際日本学部と外国語学部、経営学部の3学部が同キャンパスに集約されることを契機に、本学は大きく動き出しています。湘南ひらつかキャンパスからみなとみらいキャンパスへの経営学部移転に続き、理学部が横浜キャンパスへ移転することに伴い、様々な施設整備に着手しています。さらに建築学部(設置構想中)の新設をはじめ、人間科学部など各学部の新機軸が打ち出される機運が高まってきています。

私立学校法が施行された1950年の翌年に学校法人化した本学は、戦災で焼失した校舎の「整備拡充計画」(6カ年、5億円=当時)を立て、「最高学府として誇り得るものに」(米田吉盛理事長)と、3階建て校舎(約1万㎡)、図書館などの建設を始め、まさに本学の基礎づくり、発展のスタート台に立ちました。

今、横浜キャンパスを中心に、湘南ひらつかキャンパス、中山キャンパスを擁し、総合大学として自負出来る諸施設を持つまでに躍進しました。さらに「みなとみらいキャンパス」が加わり、将来の発展を確かなものにしてとしています。しからは、建学の精神に則り、時代と社会の負託に応えるべく、掲げる使命(ミッション)を果たすことが肝要であると考えています。

2020年 6月
学校法人 神奈川大学
理事長 牧内 良平

学校法人 神奈川大学 将来構想について

学園の理念

建学の精神「質実剛健・積極進取・中正堅実」

本学園は、1928年米田吉盛によって創立され、「質実剛健・積極進取・中正堅実」の建学の精神のもと、今日まで多くの有為な人材を実業界をはじめ各界に送り出し、社会の発展と安定に寄与してきました。

建学の精神である「質実剛健」とは、伝統・古典を尊重し、良識を重んじ、正義を貫くという価値観を意味し、「積極進取」とは、困難なことに対して積極的に挑戦し、進歩・進化を求めていくという価値観を意味します。

そして「中正堅実」とは、これら二つの価値観を深く自覚し、自律の精神と共生の視点から「探究・調和・融合」することにより、真理・本質を見極め、自主的主体性を持って新たな価値を創造していくことを意味します。



創立者・米田吉盛

使命【ミッション】

私たちは、建学の精神のもと、時代と社会の課題や使命を地球的視野から深く自覚するとともに、真理を希求する姿勢を持ち続け、自律の精神と共生の視点から主体的に新たな価値を創造する人材を育成し、未来社会の発展と安定に寄与します。

100周年に向けた将来像【ビジョン】

海により開かれ、世界との接点となった横浜に生まれた本学園は、多様な価値観の共存する時代に、人の交流と文化の融和、知識と実践の循環、教育と研究の融合による「真の実学」を実現し、地域社会そして地球規模の課題を解決する、世界を惹きつけ、世界に発信する学園を目指します。

将来構想実行計画（2018－2028）について

学園の目標

「競争力を強化し、社会的ポジショニングを高め、魅力ある学園を構築する。」

- 教育組織総合計画、教員組織総合計画、キャンパス総合計画を推進し、魅力ある学園を構築する。
- グローバル社会の中核を担う、主体性を持ち新たな価値を創造する「中正堅実」な人材を育成する。
- 幅広い教養、専門的な知識のもと、人間形成を行う「真の実学」により教育の質を高め、学生・生徒の成長を支援する。
- 社会の諸課題の解決に取り組む専門的な研究を推進する。
- ガバナンス及びマネジメントを改革し、経営基盤を強化する。

実行計画の重点事業

- みなとみらいキャンパス計画の推進
- キャンパス新総合計画の推進
- 国際系新学部設置と魅力的な教育組織の構築
- 将来構想を推進するための財政基盤の強化



国際学生寮 栗田谷アカデミア（2019年完成）

創立100周年に向けた中期計画、始まる

大学

実行計画

「知の拠点」に相応しい

社会の変化を見据えた教育組織の構築

時代の変化に対応する教育研究環境の向上

を最重点項目とし、

認証評価の結果を踏まえて、中期計画を編成します。

そのために、教学マネジメントを確立し、国際化とダイバーシティの推進、

SDGsへの取組みの強化を基軸に据え、以下の1から3に掲げる教育研究体制の整備をすすめます。

- 教育の質の向上と多様な教育の展開
- 特色ある研究と教育の推進
- キャリア形成と学生支援の強化

2020-2024年の中期計画

1 教育組織の中期計画

- 社会の変化を見据えた新機軸による教育組織の構築

2 教員組織の中期計画

- 全学的な教育・研究上の課題に対し、中心的な役割を果たす教育職員などの配置
- （仮称）高等教育・研究センター、（仮称）基盤共通教育機構などの全学組織の設置



附属学校

実行計画

- 常に学び続け、社会的に評価される教育の実践
- 地域で一番の中高一貫共学校

- 21世紀の知識基盤社会、グローバル社会の中で「主体的に考え、判断し、行動できる人」を育成する。
- 進学校として、確かな学力を基本に「社会的に評価される進学実績」を維持する。
- 多様な学習活動を通じて、「創造性と豊かな人間性」を涵養する。

2020-2024年の中期計画

- 次世代型新学力の養成と問題解決に立ち向かう姿勢や、新しい価値を生み出すチャレンジ精神、カリキュラムマネジメントの強化
- 基礎・基本学力の定着をベースとした大学進学学力の向上、生徒の将来を見据えたキャリア教育の推進
- 本校生としての感性と品性の陶冶に努める人間の育成、自律的活動力・安全管理能力の養成



中山キャンパスグラウンド整備

			2018 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2028 年度		
学園の動き			創立 90 周年	● キャンパス新総合計画グランドデザイン策定					創立 100 周年		
大学	教育組織改革	● 国際日本学部 開設 ● 外国語学部 留学プログラム充実 ● 人間科学部 公認心理師対応 ● 経済・経営系教育組織の改組に向けた検討		● 法学部 新教育プログラム	● 建築学部(設置構想中)開設 ● 人間科学部 改組	● 理学部・工学部 改組					
	教員組織改革	全学的な教育・研究上の課題に対し、中心的な役割を果たす教育職員などの配置									
附属学校	社会的に評価される 教育の実践	次世代型新学力の養成とカリキュラムマネジメントの強化									
		生徒の将来を見据えたキャリア教育の推進									
		感性と品性の陶冶に努める人間の育成、自律的活動力・安全管理能力の養成									
中期計画	基盤整備	キャンパス新総合計画 グランドデザイン		みなとみらいキャンパス建設		みなとみらいキャンパス開設 ・国際日本学部・外国語学部・経営学部 移転					
				中山キャンパスグラウンド整備							
				横浜キャンパス 図書館改修							
						理学部移転に伴う施設整備		理学部移転(横浜キャンパス)			
		理学部・工学部再編に伴う教育・研究環境の整備									
		教育組織の新機軸の検討に伴う体育施設の検討									
		事務組織改革	みなとみらいキャンパスの事務組織の具現化								
	中長期財政計画	事務組織全体の改編及び業務の平準化を目指したルーティン業務の具体的見直し									
		中長期財政計画(2018-2028)の改訂版作成									

※上記各計画のスケジュールは今後の検討状況により変更となる可能性があります。

基盤整備

実行計画

- キャンパス新総合計画の推進
- 中長期財政計画（2018-2028）の推進

中長期財政計画
(2018-2028)で
実現を目指す
主な施策

- 各学部等の新機軸による教育組織の充実
- 新機軸による教育プログラムと教員組織の充実
(職員も含めた人員計画)
- 教育環境整備のための施設設備の充実
- キャンパス新総合計画の推進

2020-2024年の中期計画

1 教育研究等環境に関すること

- キャンパス新総合計画グランドデザイン策定(2020年度)

2 大学・附属学校の運営に関すること

- みなとみらいキャンパスの事務組織の具現化
- 事務組織全体の改編
- 業務の平準化を目指したルーティン業務の具体的見直し

3 財務に関すること

- 中長期財政計画(2018-2028)の改訂版作成



横浜キャンパス24号館(2020年改築)

